

# 三和区地域協議会活動報告

(第5期：令和2年4月29日～令和6年4月28日)



地域協議会では、さまざまな立場の住民の皆さんが委員として、地域の課題や活性化などについて話し合い、地域の団体等に協力・連携を求めるほか、実現に向けて市に意見を伝えるなどの取り組みを行っています。

# 1 地域協議会等の開催状況

地域協議会では、通常の会議のほか、自主的審議に係る勉強会や地域の団体との意見交換会などを実施しました。

年度	協議会		勉強会 開催回数	意見交換会 視察研修等 開催回数
	開催回数	主な審議内容等		
令和 2年度	9	【諮問】さんわ保育園の廃止について 【協議】令和 2 年度地域活動支援事業の審査	2	3
令和 3年度	10	【協議】令和 3 年度地域活動支援事業の審査 【報告】三和区都市・農村交流促進事業（三和ふれあい農園）の廃止について	8	3
令和 4年度	11	【諮問】上越市三和ネイチャーリングホテル 米本陣の廃止について 【協議】地域活性化の方向性について 【協議】自主的審議事項について	10	4
令和 5年度	8	【諮問】三和区の小学校の統合について 【自主的審議】三和の自然や田園の環境保全 と情報発信について 【自主的審議】三和の宝を巡る通年観光の企 画及びイベント等の実施について	7	2
計	38		27	12

※令和5年度は、令和6年2月末現在



◀ 三和区青少年育成会議との意見交換会  
(令和3年度)



▶ 地域活動支援事業活動報告会  
(令和4年度)

## 2 諮問・答申の状況

諮問とは、地域協議会に対して、市長が政策判断の参考とするため、特定の案件（区内の重要な公の施設の設置・廃止、管理のあり方など）について「区内の住民の生活に及ぼす影響」の観点から意見を求めるものです。

地域協議会は、諮問された事項を話し合い、その結果を市長に対して答申という形で返します。また、話し合いの中で必要と判断した場合は、答申に関連する事項として意見を付け加える（附帯意見）ことができます。

諮問 年月日	諮問番号	諮問事項	担当課等	答申 年月日	答申	附帯意見 市の回答
令和3年 1月13日	第74号	さんわ保育園の廃止 について	保育課	令和3年 2月1日	支障 なし	なし
令和3年 7月29日	第75号	上越市過疎地域持続 的発展計画（案）につ いて	自治・地 域振興課	令和3年 8月5日	支障 なし	なし
令和4年 7月25日	第76号	上越市三和ネイチャ ーリングホテル米本 陣の廃止について	施設経営 管理室	令和4年 7月27日	支障 なし	あり
令和4年 8月9日	第77号	新市建設計画の変更 について	企画 政策課	令和4年 9月5日	支障 なし	なし
令和5年 7月5日	第78号	上越市過疎地域持続 的発展計画変更（案） について	地域 政策課	令和5年 7月27日	支障 なし	なし
令和5年 7月13日	第79号	三和区の小学校の統 合について	教育 総務課	令和5年 7月27日	支障 なし	なし

## 「上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について」の答申書

令和4年7月27日

(宛先) 上越市長

三和区地域協議会  
会長 高橋 鉄雄

### 上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について (答申)

令和4年7月25日付け上施第27247号で諮問のあった、諮問第76号：上越市三和ネイチャーリングホテル米本陣の廃止について、下記のとおり意見を付して答申します。

#### 記

当該施設の廃止について、三和区住民の生活に支障はないものと認めます。

#### (附帯意見)

ホテル米本陣は、都市と農村との交流をはじめ地域内交流による賑わいを高める目的で平成6年に設置され、三和区のランドマーク的施設として区内外から多くの人々が来館し利用してきました。

しかし、近年、人口減少を始め、民間類似施設との競合や人々の価値観の多様化など大きな社会環境の変化により、企業努力もかなわず施設利用者が減少し、売上の減少等で施設運営会社が債務超過に陥るなど、施設の存続が困難となり令和3年度末をもって休館となりました。

このことは、経営感覚をもって対応しなかった市にも責任があり、一方、地域住民による利用促進の取組が十分でなかったことも一要因と考えます。

これらの反省を踏まえ、有料老人ホームとして新たに生まれ変わる施設を、三和区住民が一丸となって応援する思いを込めて、次の3点の取組について十分配慮するよう市から譲渡予定の事業者を求めることを要望します。

- 1 当該施設の職員採用にあたっては、上越市出身者を積極的に雇用すること。
- 2 企業グループの各種事業において、区内の商工業者や、三和区産の米、野菜、日本酒などの産品を積極的に使用すること。
- 3 施設周辺において、年間を通して美しい景観の確保と自然環境の保全に努めるとともに、地域住民がイベント等を企画する際は、当該施設や駐車場の使用などに協力すること。

### 3 自主的審議事項

自主的審議とは、自主的な判断で区内の課題等について話し合うことです。自主的審議事項として話し合った結果については、その内容に応じて、区内で活動している団体に協力・連携を求めるほか、市長に意見書を提出し、市政での実現を求めていくことができます。

地域協議会では、次の事項について協議を重ね、下記のとおりまとめました。

審議開始 年月日	自主的審議事項	審議終了 年月日	意見書 の提出
令和4年 12月21日	三和の自然や田園の環境保全と情報発信について	令和5年 11月28日	なし
	三和の宝を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施について	令和5年 9月26日	

#### 自主的審議事項のまとめ

#### 三和の自然や田園の環境保全と情報発信について

「錦山」に現存する「伝三国街道」「陣屋跡」「松尾芭蕉の句碑」の歴史的価値、自然的価値、文化的価値を再確認し、環境保全と情報発信に取り組むこととしました。

戦国時代、春日山城主であった上杉謙信公が、関東へ進軍した際に通った「伝三国街道」と、その際の食料供給の基地として使われた「陣屋」の跡が、「錦山」という比較的狭いエリアの中に残っています。令和5年11月はじめ、地域協議会委員有志で、「薬師堂のある登り口」から「伝三国街道の東側の出口」までを整備し、錦山の「伝三国街道」をなんとか貫通させることができました。伝三国街道沿いにある「陣屋」跡も、地形などから想像しやすくなりました。「春日山」で義の心と強さに出会うことを求めてきた観光客にとって、三和区の「錦山」は、謙信公をより深く感じるができる魅力ある場所になる可能性があります。

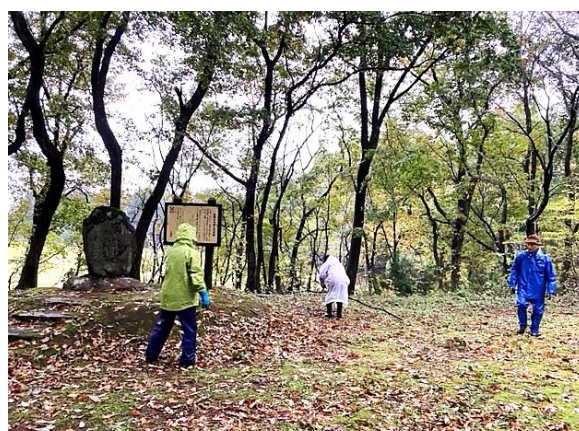
錦山全体は、新緑が美しい落葉樹が多く生えていて、秋になると葉が落ち、栗やどんぐりも豊富です。山道には長年堆積した葉が敷き詰められ、四季を通じて様々な山野草を見ることができます。地域の市民団体である「三和の歴史と文化を語る会」を中心に、春と秋の2回、月見塚広場とその周辺の山道の環境整備が行われており、会では、月見塚広場でのコンサートも開催しています。江戸（寛政）時代、三和区島倉の俳人、植木樹東が建てた松尾芭蕉の句碑がある「月見塚広場」は、三和の文化の象

徴でもあり、今後の活用の仕方次第でさらに魅力ある場所になる可能性があります。

「錦山」をこのように魅力ある場所にするには、やるべきことがまだまだたくさんあります。まずは来年度、NPO 法人三和区振興会による情報発信の取組と連携し、「三和の歴史と文化を語る会」のイベントのPR やボランティアの募集を行い、地域住民が協力して草刈り等の環境整備、イベントのお手伝い等を行っていくことから始めます。新しい仲間力が加わることで、一歩ずつ活動団体が目指す形になっていくことを望みます。「錦山」が三和区民の宝となり、観光客にとっても魅力ある場所になるために、地域協議会委員も応援する個人の立場で、様々な取組に参加し、協力していきます。



▲ 地域協議会委員による錦山の環境整備の様子



▲ 地域協議会委員による錦山視察の様子

### 三和の宝を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施について

三和区の見どころや産品をPRするガイドマップ等を作成できないか検討を行いました。検討の結果、地域協議会が「上沼道開通を見据えた三和区魅力発信事業」を令和6年度「地域独自の予算を活用したい取組」として市に提案し、NPO 法人三和区振興会が実施主体となって取り組むこととしました。この事業は、三和中学校の生徒の協力を得て、①三和区PR映像の製作、②三和区観光マップの作成、③新商品や新メニューを開発する3つのプロジェクトを実施し、その情報を発信するホームページを作成するというものです。

これらの取組は、市の予算査定や市議会での議決を経て予算化されるため、提案をもって取組の実現が約束されたものではありませんが、三和区の通年観光に向けた第一歩となりました。

三和中学校生徒へのプロジェクト説明会の様子 ▶



## 4 地域活性化の方向性の作成（令和4年11月30日決定）

「地域活性化の方向性」は、地域協議会が三和区の活力向上に向けた議論を進めるため、委員の認識共有をはじめ、市とも認識共有を図るとともに、市が行う事業を企画する上で参考にすることを目的として、市からの依頼を受け作成したものです。

三和区地域協議会では、町内会やNPO 法人三和区振興会などの各種団体と意見交換を行いながら、地域で特に重視したいことや大切にしたい取組として、次のとおりまとめました。

### 三和区における「地域活性化の方向性」

#### 《三和区の地域活性化に向けて》

三和区は、上越市の中央に位置し、広大な田園や里山、ため池など豊かな自然環境に恵まれています。こうした美しい景観や地域資源を大切にしながら、今後予定されている上沼道三和 IC（本郷）の開通を見据え、住民一人一人が様々な活動に参画し、心豊かで安全・安心なまちづくりを進めていきます。

#### ○構成要素

① 自然（谷内池やオニバス等）や田園の環境保全と情報発信
② 三和区の宝（林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等）を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施
③ 安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発
④ 新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進
⑤ 地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援

## 5 地域協議会だよりの発行

地域協議会の審議の内容や活動の様子を住民の皆さんへお知らせするため、広報紙を発行し、全戸に配付しました。

年度	回数
令和2年度	4回
令和3年度	3回
令和4年度	3回
令和5年度	3回（予定）

## 6 地域活動支援事業（令和4年度終了）の採択審査

地域活動支援事業は、地域の課題解決や活力向上に向け、住民の自発的・主体的な活動を推進するために、各地域自治区にあらかじめ配分された予算の範囲内で、事業に必要な経費を実施団体に補助する制度です。

地域協議会で事業採択の考え方や審査方法を決定し、提案された事業の審査を行いました。

年度	補助採択		補助実績		備考
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	
令和2年度	12	5,930	12	5,408	
令和3年度	12	6,000	12	5,654	
令和4年度	12	5,843	12	5,670	市で審査

※三和区配分額：各年度6,000千円

地域活動支援事業「三和ふれあい食堂事業」▶  
（令和4年度）





### 三和区地域協議会委員名簿

役 職	氏 名	住 所
会 長	高 橋 鉄 雄	今 保
副 会 長	小 林 則 子	錦
委 員	飯 田 英 利	川 浦
委 員	池 田 輝 幸	日 和 町
委 員	江 口 晃	越 柳
委 員	小山田 幸 雄	山腰新田
委 員	金 井 茂 康	水 吉
委 員	田 辺 敏 行	井ノ口
委 員	富 村 広 文	日 和 町
委 員	星 野 幸 雄	神 明 町
委 員	松 井 隆 夫	沖 柳
委 員	松 栄 由 里	島 倉
委 員	宮 澤 克 己	本 郷
委 員	森 由 美	野